

共用品教材セット

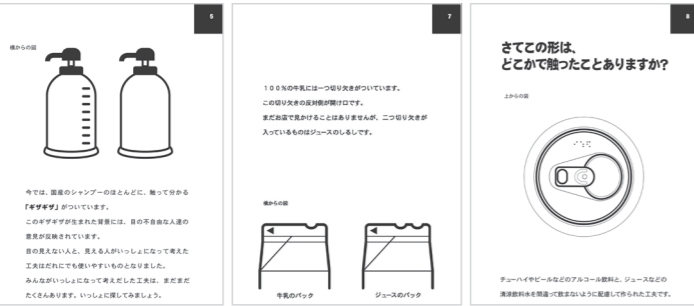


さわって分かる工夫とルール  
A4版(全16頁点字併用)

\*共用品教材セットと小冊子はみずほ福祉助成財団の助成金によって作成されたものです。

共用品教材セットは、全国の特別支援学校配布用に作成したもので現在在庫はありません。小冊子につきましては、目の見えない、見えにくい子ども向けの活動に活用していただける場合のみ、少数数ではございますがご送付することができます。

さわって分かる工夫とルール



『共用品って何だろう?共用品って知ってる?』大活字版誕生!

2002年の発行から5年間で約1万部を突破し、多くの学校や地域で活用されている小冊子『共用品って何だろう?共用品って知ってる?』の大活字版が完成した。

B5サイズの持ち運びしやすい小冊子から、A4サイズに拡大した本冊子は、見えにくい子どもにも使えるように文字の大きさや絵の表し方等において工夫している。

従来のB5サイズもこれまで通り再版を続けているが、子ども達の状況にあわせて選べるようになった。

現在教育現場においては、福祉、などの領域に限らず、社会、や国語、等の分野でも幅広く使用されている。

\*本冊子は児童教育新興財団の助成によって作成されたものです。

【問い合わせ先】

(財) 共用品推進機構 子ども向け冊子 係  
〒101-0064

東京都千代田区猿樂町2丁目5番4号

TEL: 03-5280-0020

FAX: 03-5280-2373

E-MAIL: jimukyoku@kyoyohin.org

ウェブサイト: http://kyoyohin.org/

\*お問い合わせの際は「特別支援学校向けの冊子」か、「共用品って何だろう?共用品って知ってる?」大活字版」のどちらについてものかをお知らせください。

\*本冊子は、送料のみご依頼者にご負担いただき、冊子は無料配布である。

(PR) 財団法人共用品推進機構 ☎03-5280-0020 / FAX03-5280-2373

URL: http://kyoyohin.org/ E-mail: jimukyoku@kyoyohin.org

へこみ)などは、既に多くの方がご存じのことと思うが、これらの工夫が、JISであることを知っている人は少ない。これらのJISは障害がある人にとつては大いに役立つものであるが、障害がない人にとつても

必要な情報である。この情報を子ども頃から知ることが、子ども達が自立生活を送る上で重要な情報となるが、企業などにとつても製品の開発と使い手のことを考えたモノづくりを行う上で大いに参考となる情報

である。そこで共用品推進機構は、これらの情報を子ども達に伝えるべく、身近な製品の工夫をいくつかピックアップし小冊子(点字併記)としてまとめた。また企業のご協力をいただき、製品サンプルを同

梱、全国の特別支援学校(盲学校)に無料配布した。これらのJISは、使う人(消費者)と作る人(企業など)と国が一緒になって考えたものであり、いくつかのJISはISO(国際標準化機構)の規格としても検討がなされて

いる。目の見えない・見えにくい人だけでなく、より多くの人にとつても使いやすい・世界共通のルールとなれば、日本発の試みが、世界各国の人達にとつても役立つものとなるのだ。

# 「バリアフリームーブメント」vol.73

“いざ”じゃないとき知る知識!  
“いざ”というとき引き出す知識!

## 「目が見えない、見えにくい子どもに伝える共用品の工夫」

バリアフリーな社会を生きるため、必要なことを先取りしよう!

既存の製品をより多くの人が使いやすいようにしてくれるモノ、今まで使いにくかったものを使いやすくするためのモノ等、これからどんどん増えてくるバリアフリー化された製品や情報を紹介しているこのコーナー。

今回は「目の不自由な子ども達にも分かりやすい共用品の工夫」を紹介する。  
(森川 美和)

### 全国の特別支援学校(盲学校)に共用品教材セット配布

日本には、「目が見えない人」「見えにくい人」にとつて、知っておく生活に役立つ工夫がたくさんある。これらの工夫のいくつかは、日本のルールであるJIS(日本工業規格)にもなっている。JISは、メーカーなどの製品を提供する側が、新製品の企画や既存製品の見直しなどを行う際に、参考となるものであり、消費者側は、JISがあるこ

とで安心してモノが使えるという利点がある。このJISは、工業標準化法に基づいて制定される国家規格として、生産するときのコストを低減させたり、取引の単純公正化を図ったり、使用・消費の合理化等にとつても重要な役割を果たしている。JISは現在約9800件あり、それぞれが「環境」「情報化」「高齢者・障害者への対応」などの社会的要請に応えて発行さ

れている。バリアフリー社会の実現に大きくかわる分野としては、「高齢者・障害者への対応」があり、そこで発行されるJISが今回のテーマと大きくかわっている。「シャンプー横のギザギザ」(シャンプーであることを知らせる印)や、「アルコール飲料の上部の点字」(おさけと点字で記載)、「牛乳パックの切り欠き」(上部に半円形の

「障害のある人や高齢の方々にとって使いやすい製品情報を、多くの人に知っていただくために」(財) 共用品推進機構は、平成11年4月に設立された公益法人である。前身の市民団体から合されると20年以上も、「障害のある人や高齢の方々にとって使いやすい製品」(共用品)や「アクセシブルデザイン」、「ユニバーサルデザイン」ともいう)の研究・開発、標準化、普及・啓発等に努めている。今回はその活動の中から、「目が見えない、見えにくい子ども達に伝えたい取り組み」をご紹介します。